

武川小学校の特色

青少年赤十字（JRC）活動を行っています。



武川小では、昭和 60 年に青少年赤十字活動について公開研究会を行いました。そして、令和 3 年度から 2 年間新たに青少年赤十字活動の指定校として武川中学校とともに研究指定校に指定されました。指定校が終わっても「思いやり みんなで育てる 武川小」を合言葉に、思いやりの心を大切にした教育を行っています。JRC 委員会も頑張っています。

地域のことを学んでいます。



5 年生の総合的な学習の時間では、地域のまちおこしの皆さんたちに応援していただきながら、特産物である「むかわ米」づくりの学習をしています。ユネスコエコパークに指定された南アルプスと水との関係や地域の歴史などを大自然の恵みの中で精一杯学習しています。秋の「米・米まつり」では、収穫した「むかわ米」を子供たちが販売しています。毎年早い時間に完売しています。

子供たちは地域の「目」で守られています



かけがえのない子供たちを守るため、たくさんの方々が見守りに携わっていただいています。交通指導員さんは日常的に子供たちの登校の際に交通指導をしてくださっています。また、交通安全運動の期間には、PTAの役員の皆さんや地域の民生・児童委員協議会の皆さんに子供たちの見守りをいただいています。「青パト」の皆さんにも放課後の見守りを毎日していただいています。このような取り組みを通して、子供たちとのコミュニケーションも図られています。子供たちの挨拶もよく頑張っています。

主体的な学習の機会を保障しています



秋には学習発表会『みのり集会』を行っています。各学年のこれまでの学習の発表の機会として開催しています。この行事を通して、学習したことの確実な定着と、何より子供たちの自主性や協調性が育まれていきます。そして、たくさんの友達や大人、関係する方々との出会いや、そこから学べる様々なこととふれ合うことを通して、貴重な学びを得ています。

保護者の皆様に支えられています



武川小では、子供たちの健やかな成長のため、PTA活動が積極的に展開されています。武川小の保護者の皆さんは、交通安全指導や親子研修会、街頭指導、トイレの清掃、PTA新聞の発行、各学年PTAの運営など、学校の教育活動を一生懸命に支えていただいています。また、授業参観にはほとんど100%に近い方がご参加いただいています。写真は報道部会の皆さんによる平成30年度第1号のPTA新聞「みずほ」です。これからも武川小学校は、保護者・地域の皆さんに支えていただきながら、子供たちのよりよい成長を図っていきます。

読書活動に取り組んでいます



武川小では、長年保護者や地域の方に「読み聞かせ」活動のお手伝いをしていただいています。朝の業前活動の時間に、読み聞かせボランティアさんにおすすめの本を読んでもらっています。子供たちはこの時間をとても楽しみにしています。また、休み時間の図書室は、借りる本を相談したり手続きをしたりする子供たちでいつも盛況です。